学校番号	3027

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	言語文化	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	改訂版　高等学校　言語文化（数研出版）						
副教材等	新版　理解を深める　核心古文単語３５１　（尚文出版） 新明説総合古典文法　（尚文出版） 古典常識も学べる　新明説総合古典文法ノート　（尚文出版） 漢文の習得　三訂版対応　漢文基本ノートα　（浜島書店） プレミアムカラー国語便覧　（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・社会生活を豊かにする高い国語力、人生を豊かにする教養を身に付けましょう。
・さまざまな文章を読み、考えることでものの見方や捉え方を広げましょう。
・ペアワークやグループワークに積極的に参加し、自分の思いや考えを深めるとともに、それを相手に伝える経験を積みましょう。
・古典作品に親しむとともに、心情を理解するために語彙力や文法の知識をしっかりと身につけましょう。また、作品の歴史的背景についての理解を深めましょう。
・予習として必ず本文を読んでおきましょう。授業の後には復習も欠かさず行いましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに，我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし，他者との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】
言葉がもつ価値への認識を深めるとともに，生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ，我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち，言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに，我が国の言語文化に対する理解を深めようとしている。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし，他者との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1	時間の経過による文字の変化について理解する。 ［教材］ 『宇治拾遺物語』 「児のそら寝」 「検非違使忠明」	a：歴史的仮名遣い、文語と口語の違い、古典文法の基礎について理解している。 b[読]：古語の意味を確認しながら、場面状況や登場人物の心情を読み味わっている。 c：古文に親しみを持ち、話の面白さを理解しようとしている。	ワークシート 小テスト 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート 観察 振り返りシート
	言葉による文化の継承を理解する。 ［教材］ 『羅生門』	a：文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 b[読]：作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 c：積極的に自らの作品世界を構築し、学習課題に沿って自分の考えを文章にしようとしている。			
	古文を読むために必要な文語の決まりを理解する。 ［教材］ 『徒然草』 「神無月のころ」 「ある人、弓射ることを習ふに」	a：用言の活用について理解している。 b[読]：表現・文章の構成・展開に着目しながら、作者の思想や人間観を理解している。 c：内容を踏まえて作者のものの見方や考え方を理解しようとしている。			
	漢文を読むために必要な訓読の決まりを理解する。 ［教材］ 入門一、入門二	a：漢文訓読に必要な決まりを理解している。 b[読]：現在も生きている格言、成句や故事の意味を理解している。 c：漢文を日本語として読む工夫とその意義を理解しようとしている。			
	作品の歴史的・文化的背景を理解する。 ［教材］ 「漁父之利」 「朝三暮四」	a：訓読の決まりや句法、作品の時代背景について理解している。 b[読]：平易な漢文を繰り返し音読し、内容を正確に理解している。 b[書]：故事成語の由来と意味を調べ、正しい使い方を示す説明文を書くことができる。 c：漢文に関心を持ち、音読などを積極的にできている。			
2	作品に表れているものの見方や考え方を捉える。 ［教材］ 『伊勢物語』 「芥川」「筒井筒」	a：助動詞、助詞について理解し、口語訳に生かすことができる。 b[読]：場面状況と登場人物の行動や心情を把握し、話の展開を理解している。 c：登場人物の心理を読み取り、歌物語の特徴を理解しようとしている。	ワークシート 小テスト 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート 観察 振り返りシート
	語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ［教材］ 『土佐日記』 「門出」 「帰京」	a：敬語について理解し、口語訳に生かすことができる。 b[読]：文章の展開や表現技巧に対する作者の工夫を理解し、作者のものの見方・感じ方をとらえることができる。 c：表現や当時の風習などを踏まえ、作者の心情を理解しようとしている。			
	我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解する。 ［教材］ 『万葉集』 『古今和歌集』 『新古今和歌集』	a：和歌の修辞技法や優れた表現を理解している。 b[読]：和歌を詠み味わい、情景、心情などを描写に即して読み取ることができる。 c：和歌を繰り返し音読し、その韻律や内容を理解しようとしている。			

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
2	古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解する。 ［教材］ 「古典の和歌を現代の言葉で書き換える」	a：言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 b[読]：作品の内容を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めている。 b〔書〕：古典の和歌を三十一文字の現代語に訳し、グループ内で互いの解釈を伝え合うことができる。 c：内容が明確で、他者に効果的に伝わるよう表現の仕方を工夫している。	ワークシート 定期考査	ワークシート 発表原稿 定期考査	ワークシート 振り返りシー
	近現代の詩歌に親しむことで、言語感覚を磨く。 ［教材］ 「サーカス」 「I was born」	a：詩歌の表現形式や修辞について理解している。 b[読]：描かれている情景や心情などを捉え、詩歌独特の韻律や言葉の美しさを深く味わうことができる。 c：作者が切り取った世界観を感じ、その表現を味わおうとしている。			
	我が国の文化と外国の文化との関係について理解する。 ［教材］ 『十八史略』 「管鮑之交」 「先従隗始」	a：句法や語法、作品の時代背景について理解している。 b[読]：巧みな比喩による論理的な展開に注目しつつ、主張を理解している。 c：文章に描かれている人物の考えや論理の巧みさを読み味わおうとしている。			
3	歴史的な文体の変化について理解する。 ［教材］ 『平家物語』 「祇園精舎」 「木曽の最期」	a：軍記物語に特徴的な音便表現や敬語について理解している。 b[読]：源平の戦いの歴史的な流れを理解し、生と死をめぐる人間のあり方について考えを深めることができる。 c：朗読を通して和漢混淆文を味わい、人間の生き方についての考えを深めようとしている。	ワークシート 小テスト 定期考査	ワークシート 発表原稿 定期考査	ワークシート 観察 振り返りシート
	日本文化と中国文化の類似点・相違点を考察する。 ［教材］ 『枕草子』 「雪のいと高う降りたるを」 『白氏文集』 「香炉峰下、新卜山居、草堂初成、偶題東壁」	a：古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 b[読]：作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 c：粘り強く『枕草子』と『白氏文集』の主題の違いを考え、今までの学習をいかして話し合いに参加しようとしている。			
	現代に受け継がれる古典文学について理解する。 ［教材］ 『山月記』 『人虎伝』	a：文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 b[読]：文章の種類を踏まえ、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確にとらえている。 c：人間が虎になるという設定の効果について粘り強く考察し、これまでの学習をいかして考えようとしている。			

※表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準ｂ[　]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　５　　）時間
・書くこと　…　（　　１０　　）時間
・読むこと　…　（　　５５　　）時間